みんなの文芸

榎本順江選　投稿数16句

ふり仰ぐ「愛染桂」新樹かな（別所温泉）　三沢　眞下　杏子

（評）振り仰いだのは、樹齢千二百年の霊木「愛染桂」、作家川口松太郎はこの木に着想して名作「愛染かつら」を執筆しました。樹齢から古木の梢を装う新樹は殊更美しく、生命力に感動した旅の秀句です。二句目、鎮座する不動明王の足下には、落差約十三メートルの滝がしぶきを上げている。滝の上から目を見開き、里を見張ってくれている。秩父華厳の滝の不動明王。平穏な山里への一句です。三句目、寺に大勢の人集い、御詠歌のおさらい、静かな境内に樗が咲き誇り御詠歌が流れている。心落ち着く寺の様子が伝わります。

瀧しぶき不動明王里見張る　国神　鈴木　正文

ひとつばたご見上げる空の広さかな　皆野　根岸　詩子

御詠歌をさらふや寺の花樗（おうち）　三沢　新井　民子

地位名誉いらぬ農耕立夏かな　上日野沢　四方田利男

落し文開いて見たい好奇心　三沢　新井　叶子

どくだみに八重咲きあるを知る散歩　皆野　引間　千鶴

草刈女さゆらぐ花を避けにけり　三沢　鈴木　貞恵

旋回す鳶が見ている南瓜植え　下田野　新井　節子

テスト終え背伸びして見た夏の空　皆野中一年　太幡琉美花

早朝の庭いっぱいに薔薇香る　皆野　豊田喜美恵

短歌　全16首

里からの辣韮の種絶やすまじ微々たる量だが植替へ済ます　皆野　引間　万亀

見覚えありし農産器具に出合ひたる昔の生活（くちし）脳裏に浮かぶ　三沢　新井　叶子

善光寺に詣で小布施をひと巡り四人の子らと薄暑の信濃　三沢　眞下　杏子

矢尾過ぎてキヤノン通りの花水木熊倉向い一直線　皆野　戸塚喜久雄

私用には我が名に旧字使ひをり画数運の効果や如何に　皆野　打木　昭廣

朝の庭山紫陽花や卯の花の蕾開くを待つは楽しき　皆野　村田ハツ代

馬鈴署の花咲く畑の草を引く山鳩もなき青き風過ぐ　国神　藤原マキ子

古民家の地元の櫓二階建て三百余念たつて世に出る　皆野　関根　助市

エボニーもアイボリーとてタンであれ国境さえもあってないもの　皆野　石原　達也

母の日の白い造花を渡されて少年は黙ってカバンにしまふ　三沢　鈴木　貞恵

中学校はやりたいこともやることも多くて時に流されそうだ　皆野中一年　太幡琉美花

チコちゃんに雲落ちぬ訳教わりて自然の成せる初夏の雲眺む　三沢　新井　民子

余韻まだ消えやらずしてバリトンの歌声に湧く去り難き帰路　皆野　根岸　詩子

さくらんぼ赤くたわわに実りたり父母の墓から見える所に　下田野　新井　節子

素晴らしき初優勝の朝乃山米大統領杯授与され握手す　下日野沢　浅見　豊子

トランプ氏五月場所での英語での表彰受ける力士は真顔　上日野沢　四方田利男

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

3日必着

1人1句、1首に限ります。

今月の題字

三沢小3年　加藤　紅花（くれは）さん

児童の見守り放送

皆野小6年　黒澤　惺那（せな）さん

1歳のお誕生日おめでとう

澪（みお）ちゃん
みずほ区
太幡　泰さん
彩貴さん

我が家のおてんば娘☆いっぱい食べて・遊んで大きくなってね

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

8月号の締め切りは、7月10日（水）です。

問合せ　みらい創造課
☎26-7334